

地域学修報告 一覧（2024年度）

【学内/学生向け】

NO	担当	活動名	実施日
1	地域総合センター	「尾道学入門（教養教育科目）」 尾道の経済・文化・歴史について学ぶ。 《担当講師》 外部講師：小川長／幸野昌賢／豊田雅子／真野洋介／大谷悠／藤沢毅／林良司 経済情報学科：森本幾子／林直樹／木村文則／堀江進也 日本文学科：灰谷謙二／藤井佐美 美術学科：桜田知文／小野環	2024年前期授業 (全15回)
2		「尾道灯台てらすプロジェクト」 灯台の存在意義を高めること等を目的としている日本財団「海と灯台プロジェクト」のサポートを受け、テレビ新広島と株式会社omoroïが共同で行うもの。「尾道の灯台を起点とした宿泊需要喚起のための実証調査」を行う企画として実行された。テレビ新広島から依頼を受け、希望する本学学生2名が参加。	2024年11月21日 (木)
3	経済情報学科	「商店街へのAIの導入」 AIとさまざまな法律の接点を踏まえて、商店街に出て、商店街のビジネスにどのような形でAIを導入することができるかについて考察した。	2024年度前期
4		「本学経済情報学部主催の公開講演会」 神戸大学名誉教授・広島修道大学名誉教授の豊田利久先生による「為替レートと日本経済の構造変化」をテーマとする講演。学生や一般の方合わせて約140名の参加。	2024年10月25日 (金)
5		「2024年度 経済情報学部公開ゼミ研究発表会」 経済、経営、情報各コースの代表者が卒業論文の内容について報告する公開発表会。発表者は、経済コース：大久保緋菜（森本ゼミ） 経営コース：山元海鈴（趙ゼミ） 情報コース：目次彩恵（高山ゼミ）。	2025年1月16日 (木)
6	栗田広暁 (経済情報学科)	「フィールドワーク」 地域包括ケアシステムなどについて考察するため、ゼミの学生とともに尾道の御調地域（公立みつぎ総合病院近辺）を散策した。	2024年10月5日 (土)
7		「財政学2」 科目「財政学2」の第10回～11回授業で、地域に関わる資料「尾道市令和6年度当初予算の概要」を教材にした。	2024年 12月4日（水） 12月11日（水）

8	神崎稔章 (経済情報学科)	「ヒアリング調査」 尾道市役所にて、尾道市の企業活性化の取り組みと企業価値に関するヒアリング調査を実施し、担当課の方々と議論した。	2024年9月2日（月）
9	岡本隼輔 (経済情報学科)	「フィールドワーク：ゆすはらペレットの視察」 地域由来木質バイオマスを原料とした燃料ペレットに関わる地域経済と環境問題について考察するためのフィールドワークを実施。	2024年9月19日 (木)
10		「フィールドワーク：早明浦ダム視察」 地域経済発展において重要な基盤の一つである治水事業を司るダムについて考察するためのフィールドワークを実施。本ダムは四国地方で最大規模のものである。	2024年9月20日 (金)
11		「フィールドワーク：豊稔池堰堤の視察」 地域経済発展において重要な基盤の一つである治水事業を司るダムについて考察するためのフィールドワークを実施。本施設は昭和初期から農業土木を支えたもので、現在では重要文化財にも指定されている。	2024年9月20日 (金)
12		「金融セミナー：人生とお金」 尾道市を中心に金融等のセミナー事業を展開している株式会社プロシード様から加藤雄大氏をお招きして、学生向けに「ライフサイクルと人生の三大資金」「勤労と“金労”」といったことをテーマにご講演いただいた。	2024年5月20日 (月)
13	森本幾子 (経済情報学科)	「『専門演習Ⅰ』でのフィールドワーク『ONOMICHIクリエイターズマーケット』経営者（廣瀬百子様）の話を聞く」 他県出身の経営者から、尾道で店舗を経営するに至った経緯、経営上の喜びや苦労などについて話を聞き、学生が質問をする機会を設けた。	2024年後期（10月）
14		「『専門演習Ⅰ』でのフィールドワーク『尾道の歴史的景観を学ぶ』」 尾道の町のつくりや景観形成、歴史的建造物などの歴史について、現地でフィールドワークを実施することによって理解を深めた。	2024年度5月 (前期)
15		「『専門演習Ⅰ』フィールドワーク②」 宮島の歴史に詳しい県立広島大学名誉教授の案内により、宮島と尾道の歴史的景観等の比較のための宮島フィールドワークを行った。	2024年11月 (2024年度後期)

16		「『地域経済史』（経済情報学科3年、4年対象講義）」 尾道と北前船商人ほか他国の商人との取引関係を「仕切状」や古文書を通して紹介した。	2024年度前期
17		「2024年度『尾道学入門』ガイダンス担当」 教養教育「尾道学入門」の講義目的、今後の内容、特徴の説明を第一回のガイダンスにて行った。	2024年度4月
18	日本文学科	「おのみち文化スタディ」 日本文学科の新入生歓迎行事の一つ。上級学生スタッフと教員が新入生と一緒に尾道を散策する。また後日、散策に関する報告会を行う。	2024年5月11日 （土）散策、 2024年6月14日 （金）報告会
19		「フィールドワーク」 日本文学科3年生以上を対象とする授業。フィールドワークの基礎知識を実習とともに学ぶ。	通年（前期～後期授業期間）
20	藤井佐美 （日本文学科）	「科目『民話研究』」 尾道の昔話・伝説・年中行事等の伝承状況を、映像や音声資料とともに解説した。	2024年度前期
21		「科目『民俗学2』」 民間伝承に関する映像や音声等の傍証資料を教材とし、現代の地域社会における課題・対策の事例について講述した。	2024年度後期
22		「伝承文学専門演習b」 広島県の昔話に関する報告資料を教材とし演習をおこなった。	2024年度後期
23		「科目『文化財学』」 オムニバス授業において尾道の様々な文化財の解説をおこない、フィールドワークも実施した。	2024年度後期
24		「科目『瀬戸内文化論』」 しまなみ海道をめぐる伝承文化の事例紹介と島々の歴史解説をおこなった。また、ゲストスピーカーとのディスカッション授業もおこなった。	2024年度前期

25	宮谷聡美 (日本文学科)	「フィールドワーク『浄土寺蔵源氏物語図扇面貼交屏風』『源氏物語の世界展』見学」 ゼミ活動の一環として、尾道浄土寺で特別公開された「源氏物語図貼交屏風」、広島県立歴史博物館で開催された「源氏物語の世界展」を見学した。	2024年11月4日 (月)
26	山田和大 (日本文学科)	「教職課程学生対象の教職の実際に関する学び」 広島県教育委員会の方を招き、「教員の一日」(科目「教師論」 11/6)、「マナー・コミュニケーション講座～教員として人とツナガル」(科目「教職実践演習」 11/15)、「特別支援教育の考えを生かした個別最適な学びとICTを活用した授業」(科目「教育の方法と技術・教育におけるICT活用」 12/6)という内容を学ぶ機会を設けた。	2024年 11月6日(水) 11月15日(金) 12月6日(金)
27		「出前授業『中国文学が日本文学に与えた影響』」 広島県立広高等学校における出前授業	2024年9月18日 (水)
28		「教職課程で学ぶ学生の学外実習」 広島大学附属福山中・高等学校で行われた公開研究会に、「国語科教育法Ⅱ」を受講している学生とともに参加し、研究授業を参観して授業の実際についての理解を深めるとともに、研究協議を通して授業づくりについての学びを深める機会を設けた。	2024年11月22日 (金)
29	美術学科 デザインコース	「デザイン×私のまち 第22回 地域プレゼンテーション」 尾道地域または学生の出身地域を題材に作品制作またはデザイン企画を行い、尾道市民へ向けてプレゼンテーションによる発表と展覧会を実施した。	展覧会： 2025年2月22日 (土)～25日(火) 発表会： 2025年3月1日(土)
30	中村 譲 山梨千果子 小西美幸 (美術学科)	「芸術的な視点を取り入れた幼児教育事業」 尾道市内幼稚園・小学校での活動(高須幼稚園・三成幼稚園・木ノ庄東幼稚園・高須幼稚園・美木原小学校) 「砂子絵を体験しよう」「とろとろえのぐでこぼこおえかき」を行った。	2024年 5月29日(水) 6月11日(火) 6月13日(木) 6月25日(火) 10月22日(火) 10月24日(木) 10月29日(火) 11月1日(金)

31	西村有未 (美術学科)	「公益社団法人 尾道法人会 女性部会主催「税に関する絵はがきコンクール」」 尾道市内の小学生を対象とした、税に関する絵はがきコンクールの審査員。	2024年10月26日 (土)
----	----------------	---	--------------------